

認知症診断助成制度の実施状況

1. 認知機能検診（第1段階）（平成31年1月～令和5年10月末）

| | 総数 | 疑いあり | 疑いなし |
|------|---------------|----------------|----------------|
| 受診者数 | 69,611 | 17,506 (25.1%) | 52,105 (74.9%) |

2. 認知機能精密検査（第2段階）（平成31年1月～令和5年10月末）

| | 総数 | 認知症 | MCI (軽度認知障害) | 認知症でない |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 受診者数 | 14,569 | 8,319 (57.1%) | 4,143 (28.4%) | 2,107 (14.5%) |

3. 実施医療機関数（令和5年10月末時点）

認知機能検診（第1段階） **469か所**（制度開始時：326か所）

認知機能精密検査（第2段階） **70か所**（制度開始時：53か所）

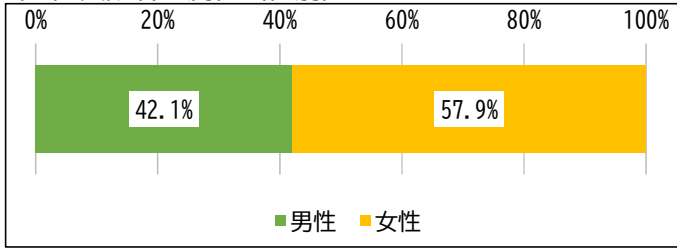
4. 受診券発送状況（平成31年1月～令和5年10月末）

| | |
|------|---------|
| 一斉送付 | 576,205 |
| 申込み | 29,666 |
| 合計 | 605,871 |

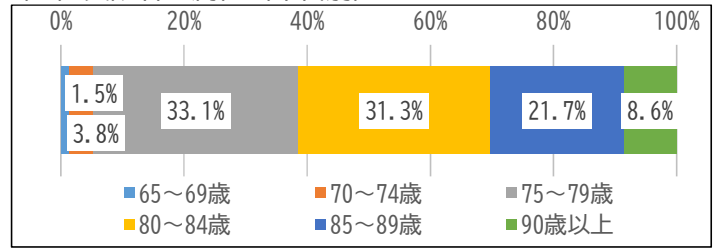
■第1段階（認知機能検診）の実施状況

受診者数：69,611人（平成31年1月～令和5年10月末）

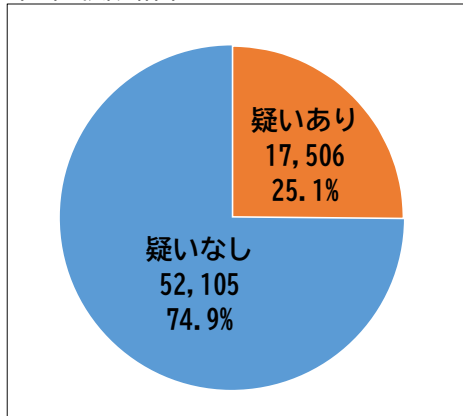
(1) 受診者の属性（性別）



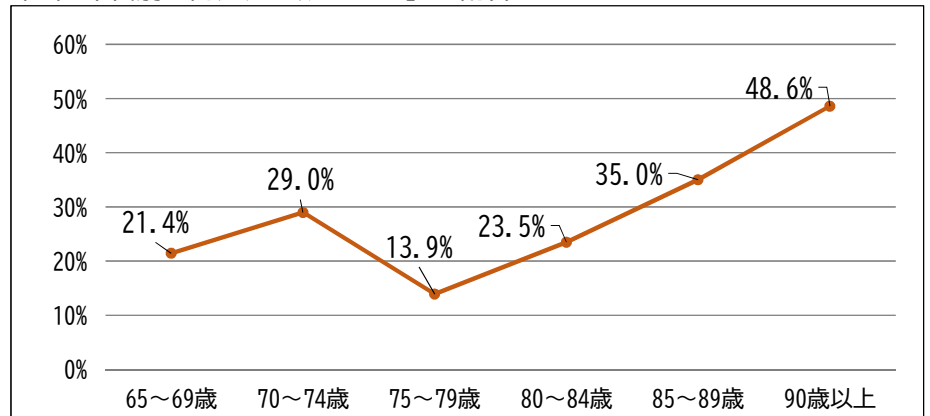
(2) 受診者の属性（年代別）



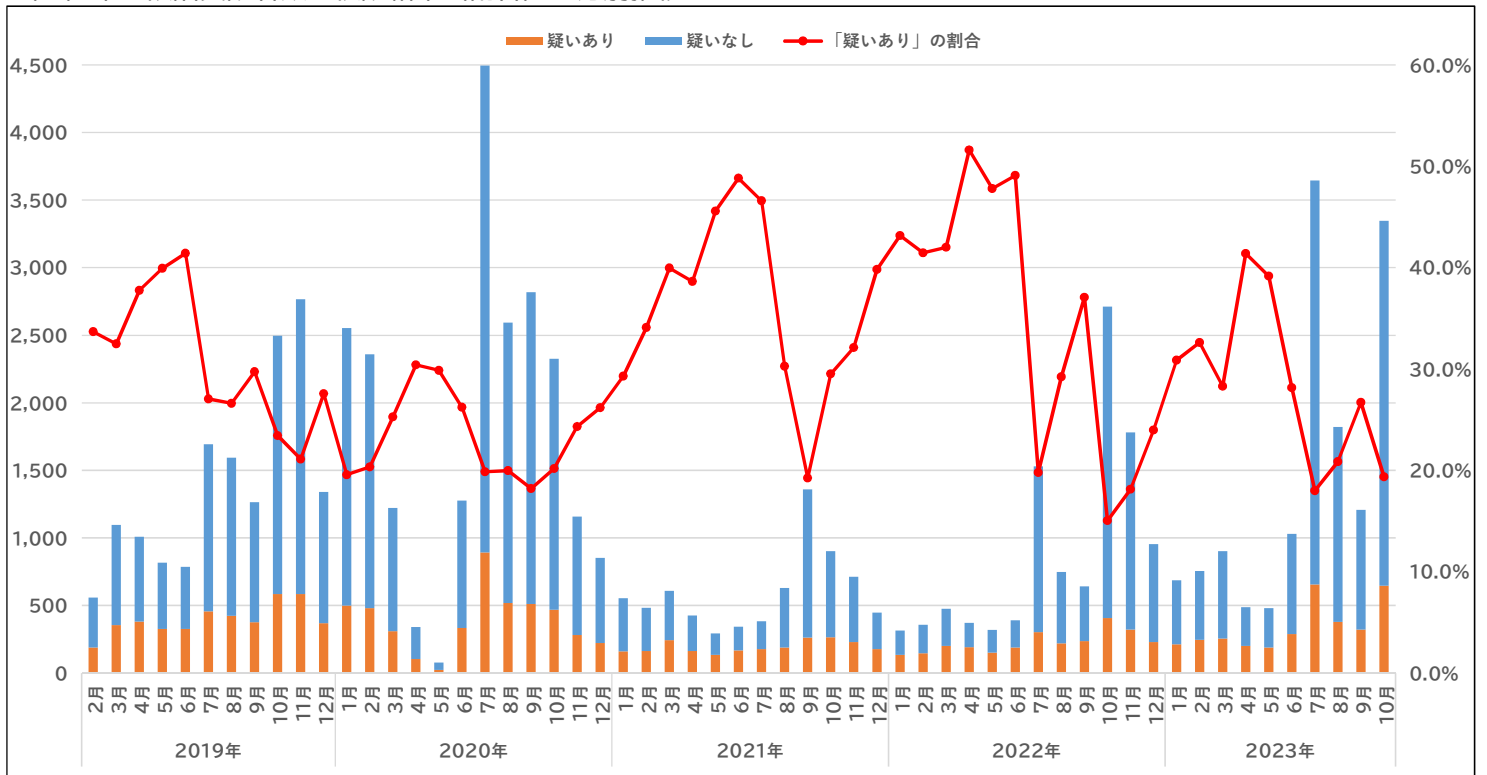
(3) 検診結果



(4) 年代別「認知症の疑いあり」の割合



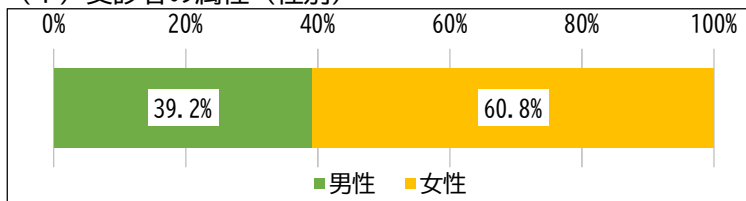
(5) 第1段階受診者数と検診結果（割合）の月別推移



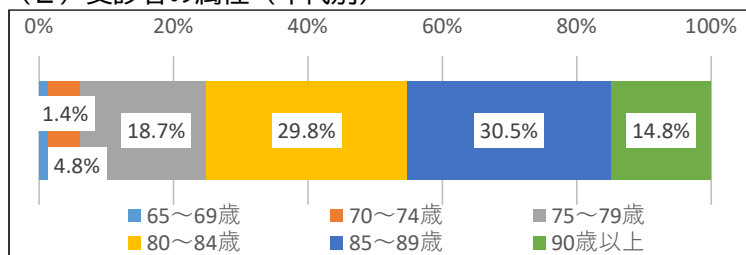
■第2段階（認知機能精密検査）の実施状況

受診者数：14,569人（平成31年1月～令和5年10月末）

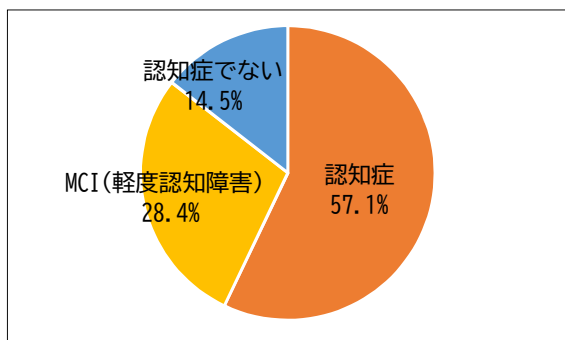
(1) 受診者の属性（性別）



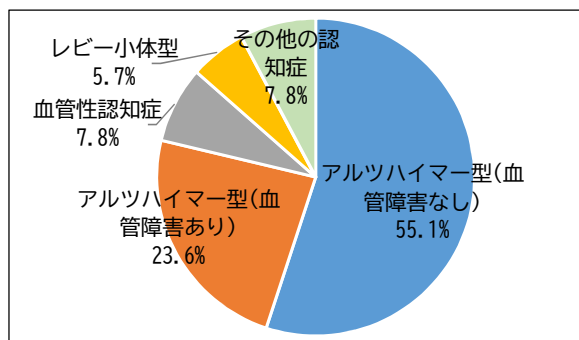
(2) 受診者の属性（年代別）



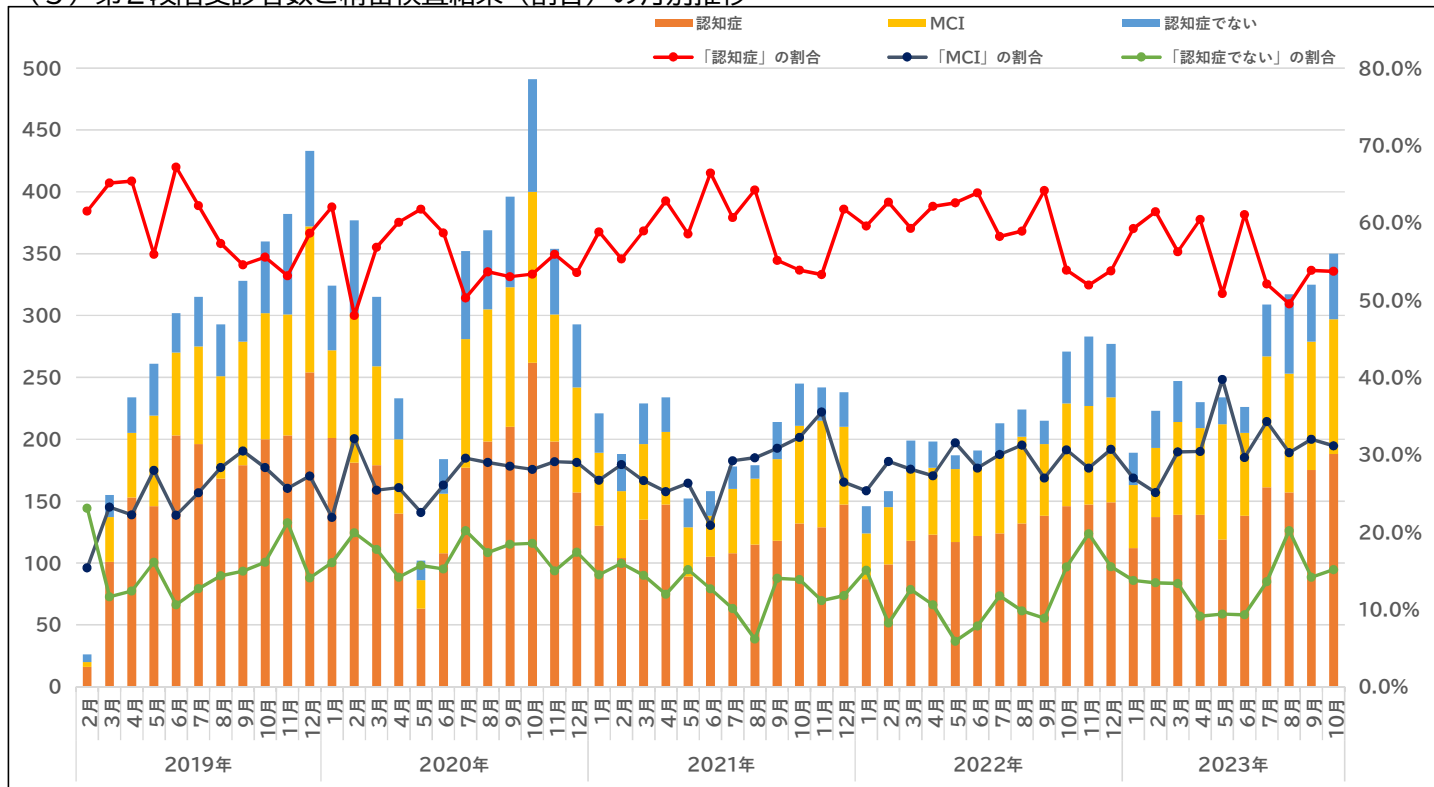
(3) 精密検査の結果



(4) 認知症疾患の内訳



(5) 第2段階受診者数と精密検査結果（割合）の月別推移



■認知機能検診受診券送付の実施状況

(平成31年1月～令和5年10月末まで)

(人)

| | 年度 | 対象者 | 送付日 | 送付数 |
|---------|--------|--------------|------------|---------|
| 一斉送付 | 令和元年度 | 75歳以上全員 | | |
| | | ①7～9月生 | 令和1年7月12日 | 43,413 |
| | | ②4～6月生 | 令和1年10月11日 | 50,535 |
| | | ③10～12月生 | 令和2年1月10日 | 52,112 |
| | | ④1～3月生 | 令和2年6月26日 | 74,176 |
| | 令和2年度 | 75歳到達者 | 令和2年8月21日 | 13,797 |
| | 令和3年度 | 75歳到達者 | 令和3年8月20日 | 18,605 |
| | | 80・85歳到達者 | 令和4年6月29日 | 26,344 |
| | 令和4年度 | 75・80・85歳到達者 | 令和4年9月30日 | 51,858 |
| | 令和5年度 | 75歳以上全員 | | |
| | | ①4～10月生 | 令和5年6月23日 | 126,901 |
| ②11～3月生 | | 令和5年10月6日 | 118,464 | |
| | 一斉送付合計 | | | 576,205 |
| 申し込み | 申込数合計 | | | 29,666 |
| 合計 | | | | 605,871 |

■認知症診断助成制度の実施状況（その他）

(1) 事業費

(単位：百万円)

| | H30 | R元 | R2 | R3 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|----|-----|
| 診断助成制度 | 42 | 201 | 172 | 86 | 501 |

| | R4 | R5 | R6 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 診断助成制度 | 132 | 270 | 185 | 587 |

※H30～R4は決算額、R5は予算額、R6は計画額

※第1段階の検診料は6,620円、第2段階の自己負担分の助成金は平均で約7,500円

(2) 他都市の状況（政令指定都市のうち医療機関で個別実施している都市）

| 都市名 (高齢者人口) | 神戸市 (約43万人) | 横浜市 (約93万人) | 名古屋市 (約59万人) | さいたま市 (約31万人) |
|--------------------|--|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 制度開始 | 平成31年1月 | 令和2年1月 | 令和2年1月 | 平成28年8月 |
| 対象者 | 65歳以上の市民 | 50歳以上の市民 ※令和5年3月までは 65歳以上の市民 | 65歳以上の市民 | 65歳以上の市民 |
| 第1段階 の検査ツ ール | ①HDS-R ②DASC-21 ③独自の問診票 (BPSDチェック) ※上記をもとに医師が診 察し判断 | ①HDS-R ②DASC-21 | ①HDS-R ②DASC-21 | ①浦上式 ②BPSD検査 |
| 第2段階 の受診勧 奨 | 紹介状（結果及び基 礎疾患・投薬内容等 を記載）を交付して 受診を勧奨 | 受診を勧奨（紹介 状は別途必要・有 料） | 受診を勧奨（結果通 知書等を持参し受 診） | 受診を勧奨（紹介 状は別途必要・有 料） |
| 第2段階 の助成 | あり（検査費用全額） | なし | あり（検査費用全額） ※令和5年10月開始 | なし |
| 実施医療 機関数 | 第1段階：469箇所 第2段階：70箇所 (R5.10時点) | 第1段階：163箇所 (うち64歳以下の検診実 施可能な医療機関数：44 箇所) 第2段階：39箇所 (R5.9時点) | 第1段階：571箇所 第2段階：59箇所 (R5.10時点) | 第1段階：240箇所 第2段階：43箇所 (R5.4時点) |
| 受診者数 | 第1段階 11,797人 ※遡報値 (R4年度) | 第1段階相当 2,010人 (R4年度) | 第1段階相当 7,294人 (R4年度) | 第1段階相当 1,635人 (R4年度) |

【参考】千葉市：令和5年10月より特定検診・健康診査受診者のうち認知機能の項目に該当する65～89歳の市民を対象に「もの忘れチェック事業」を開始

(3) 国の動向等

○認知症施策推進大綱

国は、令和元年6月18日に「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の後継となる「認知症施策推進大綱」を策定

【参考：認知症施策推進大綱の基本的な考え方】

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進（※「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味）

○共生社会の実現を推進するための認知症基本法

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進することで、認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会（＝共生社会）の実現を図ることを目的とした「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が令和5年6月14日に可決・成立、同月16日に公布、令和6年1月1日に施行

○国への要望

認知症神戸モデル創設時より、本市から国に対して、下記について要望。

- ・早期診断のための認知機能検診に対する財政支援
- ・事故救済制度の創設及び認知症予防施策の拡充